



## 安道よし子の一般質問

# 「戦争する国」と一体の基地拡張・NO

基地の拡張・強化は、安倍内閣の「戦争する国づくり」そのものです。

市長は昨年9月、市民要望の実現を口実に防衛省の要請を受け入れましたが、「戦争する国づくり」を後押しする基地拡張を容認したことになります。

### 燃料施設そばに落雷事故が

8月、基地内の狭山側燃料施設と入間側燃料施設をつなぐ送油管のマンホール(狭山側)に雷が落ちてふたが破損。入間側のマンホールから煙が発生。送油管に油臭が漂い、基地消防が消火し、狭山消防が点検したとの報告。一つ間違えば大惨事です。私が、「基地に詳細な調査を要請すべき」と質すと、市長は、「基地からは問題ないとの報告だ」と、甚だしい危機管理意識不足。事故の再調査を強く求めました。

来年度、電波情報収集機が配備され、32年には、C-2輸送機が配備されます。

入間基地の滑走路は2000m。C-2配備の岐阜基地(2700m)や美保基地(2500m)に比べ滑走路が短く、安全面が不安です。「滑走路が短いが大丈夫か」と質すと、市長は「滑走路の長さは把握していない。安全面は調査する」とあまりにも認識不足な答弁です。

### C2配備は「国防のため」と答弁

私が「C-2 配備は危険。拒否すべき」と訴えると、市長は「国防のために必要」と主張。市長は、市民の「安全・安心」を守る姿勢を貫くべき。市民の安全が最優先です。C-2配備と自衛隊病院の整備に反対するよう訴えました。

自衛隊輸送機C1とC2の比較

	C1	C2
幅	約31m	約44m
長さ	約29m	約44m
高さ	約10m	約14m
基本離陸重量	約39t	約120t
最大積載量	約8t	約30t
航続距離	1700km	6500km

## 国保税の増税は先送りではなく中止を！

私は、6月議会に続き、9月議会でも来年度2億5千万円の国保税の増税計画を中止するよう求めました。

田中市長は、社会情勢からも来年度の値上げは難しいとして、増税は見送る考えを表明。しかし、増税計画は温存です。私は、増税先送りではなく中止するよう求めました。更に、減免制度を拡充して、低所得者の暮らしと医療を守るよう求めました。



いつもはつらつ

あんどう  
**安道** よし子の

No. 43  
2016年 冬号

**市議会通信**



日本共産党市議会議員

## 皆さんと力合わせ政治を変える先頭に

先の入間市長選挙でのご支援・ご協力に感謝申し上げます。前回より10%も低い投票率で、投票日には、防災無線での誤放送による混乱の中、参院選よりも500票伸ばす約1万の票が、共産党公認の石田候補に寄せられました。これは、「政治を変えたい」との共産党への期待の表れです。私は、これからも皆さんと力を合わせ、くらしと平和を守るために全力を尽くす決意です。



## 第一病院そば「踏切拡幅」へ

### 繰り返し議会で取り上げ、市長や西武鉄道へも要請

私は、9月議会で第一病院そばの「武蔵藤沢第4踏切」の拡幅について一般質問。踏切拡幅は、今回で5回目の質問になります。後援会の方々と市長や西武鉄道に要望書を提出したり交通量調査を実施する等、地域の皆さんと一緒に対策を求めてきました。市長は「踏切拡幅と歩道整備に向け防衛省や西武鉄道と協議し、歩道用地を確保する。29年度には測量の予算を計上し、踏切拡幅と歩道整備に向け事業を進める。5~6年程度の計画になる」と答弁しました。皆さんと共に要望してきたことが、実現に向け動き出します。



みなさんの声をとどけて働きます

安道よし子の連絡先 電話04(2962)8082 携帯090(4811)0553



# 共産党と市民の共同が大きく前進

日本共産党市議団

# 力を合わせ市民の願い実現へ

## 小中学校にエアコン設置！

夏には、40度に近くなる夏季小中学校の教室。共産党市議団は、学習環境の改善のため、繰り返し議会一般質問でエアコン設置を求めてきました。

同時に市民団体「学校エアコン応援ネット」とともに署名活動や市長への要請行動に取り組んできました。

市民と党市議団の共同が、小中学校エアコン設置へ、29年度工事、30年度夏からの稼働を実現させました。



## 基地拡張ノー！の運動広げ

田中市長は、市民への説明もなく、議会にかけることもなく、「東町基地跡地留保地への災害対処拠点「自衛隊病院建設」を受け入れました。

戦争法と一体の基地拡張であり、市民が、「ストップ入間基地拡張！市民の会」を立ち上げ、請願署名を2015年12月議会に提出。共産党市議団も取り組んだ署名は約9000筆に達しました。

党市議団は、紹介議員となり請願採択に全力で取り組みましたが、他会派の反対で請願は否決されました。しかし、基地拡張反対の運動は大きく前進しています。

## 国保税値上げ中止と減免拡充

国保税は、27年度に5億円の負担増が行われ、今後さらに5億円引き上げる計画です。年間収入233万円の世帯で25万円を超える国保税は、限界を超えています。共産党市議団は、増税中止と減免制度拡充を求めてきました。法定減免は、所得税非課税の方などへの6割・4割の減免が7割・5割・2割に拡大されました。

申請減免は、「生活困窮」が要件に加えられました。

党市議団は、さらなる改善を求めていきます。



## 市民の声が届く「まちづくり計画」に！

市の10年間のまちづくり計画、第6次入間市総合計画が9月議会で審議。党市議団は「住民福祉の向上に寄与する」という自治体の役割を投げ捨て「自助・共助・公助」の市政運営や施設の統廃合、民間委託化、受益者負担等が強調され、市民本意の計画になっていないとして反対しましたが、他会派の賛成多数で可決されました。

総合計画は「入間市行政改革大綱」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「公共施設等総合管理計画」等と一体のもので、国の地方創生戦略の方針に基づいています。

公共施設の統廃合や民間委託等で、地域が衰退する恐れがあります。市のトップダウンで進めるのではなく市民と議論し市民本位のまちづくりをすすめるべきです。

## 市民と共同で「戦争法」ストップへ

入間基地では大型輸送機C-2配備に向け、燃料施設や格納庫等の建設が行われています。自衛隊病院とC-2配備により、入間基地が「海外の戦争に参加する兵站基地」に。自衛隊病院は、戦時医療を担う「後送病院」。第一線で負傷した隊員を救護する救護隊員を養成する施設も併設されます。災害拠点は海外展開のための人員・物資の集積拠点であり、基地の拡張・強化そのもの。党市議団は戦争法廃止・基地拡張ストップの運動を大きく広げるために、皆さんと力を合わせて頑張ります。

## 台風被害の対応を市へ要請



8月22日の台風9号による豪雨災害で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。日本共産党市議団は翌日、塩川てつや・梅村さえこ両衆議院議員、柳下礼子県議とともに被害があった不老川、霞川、藤田堀の現地を視察しました。住民から現状や要望を聞き取りした後、飯能県土整備事務所に行き、被害状況の確認と河川の復旧工事などの対応を要望しました。

後日、入間市に対しても緊急要請書を提出。①災害救助法、被災者生活再建支援法適用を県に要請すること②避難者の生活支援③被災者支援策の強化④被災ゴミの無料回収⑤浸水家屋の消毒⑥り災証明書の速やかな発行⑦河川の補修工事、土のうの確保⑧農業・営業被害の把握と生業再建への支援などを要請しました。

## 日本共産党市議会報告

2016年11月

発行/日本共産党入間市議団  
連絡先/電話・Fax2932-2840

安道よし子 2962-8082 090(4811)0553  
吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077  
小出わたる 2932-7884 090(6542)3883